

なぎそ 議会だより

令和4年 第5回／第6回臨時会

第5回臨時会

○令和4年第5回臨時会が10月28日に1日間の会期で開かれました。

- ★第5回臨時会可決議案一覧 …… 10 P
- ☆補正予算（第4号） …… 11 P

第6回臨時会

○令和4年第6回臨時会が11月29日に1日間の会期で開かれました。

- ★第6回臨時会可決議案一覧 …… 10 P
- ☆木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会 …… 12 P
- ☆委員会報告 …… 12 P

第5回臨時会（10月）可決議案一覧表

予算関連議案		賛否
●令和4年度補正予算	一般会計の補正は9,953万9千円増額し、総額43億8,752万2千円となります。	審議内容掲載P11 全員賛成

第6回臨時会（11月）可決議案一覧表

条例議案		賛否
●一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正に準じて、給料表の改正と一般職の職員の勤勉手当を年0.1月分引き上げるものです。	全員賛成
●特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正	特別職の国家公務員の給与改正に準じて、特別職の職員で常勤の者の期末手当を年0.05月分引き上げるものです。	全員賛成
●南木曾町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	特別職の国家公務員の給与改正に準じて、町議会議員の期末手当を年0.05月分引き上げるものです。	全員賛成

補正予算審議概要

令和4年度補正予算（一般会計）が10月臨時会で審議され、全会一致で可決されました。補正予算概要を表に示し、審議の主な質疑を掲載します。

●電気料金などの高騰に対する事業者支援

Q 電気料金、ガス料金などの高騰に対する生活支援対策は良いことだが、一方で商店や小規模事業者の営業負担も増大している。こうした事業者に対する支援は考えているか。

A 現在は考えていませんが、町内事業者の実態を把握した上で、町として何が出来るのか検討していきたいと考えています。

●肥料・飼料高騰に対する支援金

Q 農家でなく、家庭菜園を行っている場合でも該当となるか。

A 1年間に1万円以上肥料などを使用して、いけば該当となります。

Q 農業も高騰しているが、該当となるか。

A 今後検討します。

Q 町内に住所のある人が農業をしている場合とあるが、町外から通って農地を守っている場合は該当となるか。

A 検討します。

Q この支援金は単年度収支を対象としているが、農協で肥料などを購入すると、年度をまたいで領収書が5月以降になってしまうのではないか。

A 領収書が間に合わない場合は、納品書の添付でも構いません。

●給食費補助

Q 給食費の追加支援として一人当たり3千円、合計で1万5千円となるが、追加した理

由は。

A 食用油や小麦粉などの給食以外の食材費高騰によるものです。前回の6月補正では充分ではなく、追加補正となりました。

Q 今年度の物価高騰は仕方がないとしても、給食費の無償化と併せて検討するということだったと思うが。

A 来年度からの検討課題として引き続き検討していきたいと考えています。

●町道大原線改良工事

Q 町道大原線の工期が延長となった原因は、A のり面の伐採木や



改良中の町道大原線

転石の処理に時間が掛かり遅延する結果となりました。また、冬期に入ると舗装工事に影響が出るため、春先まで工期の延長を行いました。説明が不十分だった点について、再度地元との調整を図ります。

Q 工事中の場所は、湧水により冬季に路面が凍結する問題があるが改善されるか。

A 湧水の問題は確認していますので対応します。

●意見 冬期に未舗装の道を車が通ることとなる。安全対策には万全を期して欲しい。

●町道上の原線改修工事

Q 町道上の原線では、大原苗圃下の中山道歴史の道が大雨などで荒れている。人も通りにくく危険な状態になっているため改修を願いたい。

A 早急に確認して対応したいと思います。

●のり面の防災対策

Q 国土強靱化事業の場所は。

A 天白公園ヘリポート上の、町道桃の橋側の山側のり面を対象としています。

●右岸道路の除雪対策

Q バス路線となった右岸道路の除雪対策は。

A 今回の補正予算で路面の段差部分の舗装をします。また除雪作業の支障が無いように、除雪担当路線の変更など業者と調整してまいります。

令和4年10月補正予算 (10/28決)

一般会計補正予算 9,953万9千円を増額
総額 43億8,752万2千円に

●一般会計補正予算 (単位：千円)

会 計	補 正 額	補正後の金額
一般会計 (第4号)	99,539	4,387,522

●主な補正内容 (単位：千円)

事業名	金 額
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援金給付事業	28,550
地域支えあい商品券給付事業	26,351
町道荒神線舗装事業	25,460

報告 木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会



全国治水砂防協会理事長
大野宏之氏による講演



多治見砂防国道事務所長
加藤仁志氏による講演

10月21日、上松町ひのきの里総合文化センターにおいて木曾南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会が開催されました。

上松町・南木曾町・大桑村・王滝村の議員が参加し、来賓として国土交通省、全国治水砂防協会などの関係者や、加盟町村の各首長、木曾町・木祖村の議会議長に出席していただきました。

総会では、令和3年度事業報告・収支決算報告と令和4年度事業計画・収支予算、役員改選などが審議、承認されました。令和4年度は研修会や連盟独自の要望活動を行うなどの報告を受け、新たな会長として南木曾町議会の山崎議長を、副会長に上松町・永井議長と大桑村・岩佐議長をそれぞれ選出しました。

講演会では、「土砂災害と砂防」と題して全国治水砂防協会理事長の大野宏之氏による講演をいただき、また「木曾南部における直轄砂防事業について～土砂災害を防ぎいのちと暮らしを護る～」と題して国土交通省多治見砂防国道事務所長の加藤仁志氏による講演をいただきました。

委員会報告 リニア新幹線対策特別委員会

中津川市議会・南木曾町議会リニア特別委員会合同会議の開催

10月28日午後、中津川市議会リニア中央新幹線対策特別委員会との合同会議を開催しました。毎年相互の場所で交代に実施し、8回目となる今回は中津川市においてリニア関係の工事現場の視察と意見交換の会議を行いました。

現地視察では、JR美乃坂本駅に隣接するリニア岐阜県駅付近の工事現場でJR東海の説明を受け、そのあと濃飛横断自動車道の茄子川交差点IC（仮称）付近では恵那土木事務所から工事状況の説明がありました。

中津川市役所での合同会議では、冒頭に双方の議長に続き青山中津川市長のあいさつがあり、それぞれの委員会の活動報告と行政側からのリニア新幹線計画やリニア関連事業などの進捗状況報告および意見交換を行いました。神坂スマートインター、市の道路整備や駅周辺の区画整理に伴う移転戸数や移転先、中津川西部テクノパークなどについての質疑があり、こうした交流は隣り合う地域の相互理解が深まる場となっています。

（文責：坂本 満 副委員長）



委員会報告 国道256号改良促進特別委員会・経済観光常任委員会

11月29日、国道256号改良促進特別委員会と経済観光常任委員会が合同で木曾建設事務所との現地視察・意見交換会を開催しました。

国道256号改良促進特別委員会の報告

- ・国道256号漆畑地籍の拡幅改良工事の現地視察を行った。震災対策緊急輸送路に指定されているが、大型車などのすれ違いが困難であり、円滑な走行に支障をきたしている。妻籠宿と昼神温泉郷を結ぶ観光道路でもあるため、快適性・安全性の確保を求める。

経済観光常任委員会の報告

- ・一般県道上松南木曾線の大桑―南木曾間、十二兼地区工事の現地視察を行った。国道19号が通行止めになった際の代替え路線として期待されている。
- ・主要地方道中津川田立線の大滝川橋梁下部工の工事箇所の現地視察を行った。将来的には木曾川右岸道路として期待される。

主な意見交換

- ・国道256号蘭交差点改良工事、折戸沢橋上流側の側溝整備事業に早速取りかかっていたいただいた。感謝したい。
- ・国道256号の残土を十二兼の工事に利用出来ないか。
- ・高瀬橋下流側にかかる橋の河川断面の確保について、2橋となることに不安が残る。
- ・県道三留野停車場線のカラー塗装を実施してもらったが、跨線橋の塗装が一部されていない理由は。
- ・十二兼右岸道路の運搬は踏切を利用しているが、通行の安全や地元への説明は。

(文責：国道256号改良促進特別委員会 赤坂 孝 委員長)



木曾川右岸道路・
十二兼地区工事の現地視察



田立大滝川橋梁工事の現地視察

委員会報告 国有林対策特別委員会

12月1日、木曾森林管理署南木曾支署との現地視察及び意見交換会を行いました。

現地視察では、伐採・集材箇所である柿其国有林56林班を視察し、高性能自走式搬器ウッドライナーによる木材の運搬や、プロセッサ（造材機）による枝払い・玉切り・集積作業を見学しました。

役場で行った意見交換会では、令和4年度事業などについて説明を受けました。意見交換では多くの質問・意見が出され、有意義な会となりました。森林管理署の皆さんにはお忙しい中ご対応いただき、本当にありがとうございました。



主な質問・意見

- ・柿其の奥まで維持管理するための努力や、伐採や集積を二人で行える機械を見学出来て良かった。
- ・木材自給率が上がっているが、コロナ禍や世界情勢、ウッドショックなどの影響か。
- ・地元職員を増やして、もっと南木曾に住んでもらいたい。

(文責：矢澤 和重 委員長)